

テ ィ ー エ ス テ ィ ー ミ ッ プ ス  
イ ン ス ト ー ル ・ ガ イ ド

*Ver.2008:* **74**



[www.opengis.co.jp](http://www.opengis.co.jp)

この説明書は、Microsoft Windows 2000/XP/2003/VISTA がインストールされた AT 互換機 (DOS/V) に、TNT 製品をインストールするためのガイドです。不明な点については、同梱の英文インストールガイド、あるいは弊社 (TEL: 03-3623-2851) までお問い合わせ下さい。

# 作業全体の流れ

作業は大きくわけて2つです。

初めに、TNTmips Ver.2008:74 をインストールし、  
次に、ライセンスキーのドライバをインストールします。

以上で、TNT mips を起動させるまでに必要なインストール作業はすべて終了となります。

最後に、日本語を自由に使えるように、言語の設定を行います。

TNTmips を使うまで



# ① インストールの準備

- ❗ インストールを行う際、Windows2000/XP の場合は、Administrator や管理者権限でログインしてから作業を行なってください。
- ❗ WindowsXP(Home/Professional) が “Service Pack3 (以下、SP3)” であるか確認してください。“Service Pack2” をお使いの場合は、Windows Update で SP3 にしてください。

## ● 新規にライセンスを購入された場合

ライセンスキーと一緒に、インストール用 CD-ROM が同梱されています。

すでに、TNTmipsV2008:74 がコンピュータにインストールされている場合は、CD-ROM からインストールする必要はありません。③の「ドライバのインストールとキーの差し込み」を行ってください。もしも、CD-ROM を使って再インストールしたい場合は、一度 TNTmips をアンインストールしてから再インストールしてください。

## ● 既存のライセンスをバージョンアップする場合

ご注文の後、マイクロイメージ社からバージョンアップコードが提供されます。弊社からメールまたは FAX でご連絡します。

TNTmips(ライセンスキー番号 # 〇〇〇〇〇) の 2008:74 用バージョンアップコードが参りましたので、ご連絡します。

キー番号 # 〇〇〇〇〇 用 V74 バージョンアップコード:

\*\*\*\*\*

1111 AAAA 2222 BBBB

\*\*\*\*\*

16 桁の 16 進数です。入力時、スペースはなくても構いません。

バージョンアップコードは、インストール時に使用します。

- ❗ すでに TNTmips Ver.2008:74 をダウンロードしてお使いであれば、30 日間の試用期間が切れるまで、そのまま継続してお使いください。期間が切れた時点で、コード入力を促されますので、その際、バージョンアップコードをお使いください。
- ❗ バージョンアップコードをお知らせした日付以降に作製された TNTmips Ver.2008:74 をダウンロードして使う場合、ソフトウェアにご注文のライセンスキーの番号がすでに登録されていますので、コード入力の必要はなくなります。

バージョンアップの場合は、TNTmips の入った CD-ROM は送付されません。お手数ですが、バージョンアップ用のソフトウェアを、以下のマイクロイメージ社のサイトからダウンロードして下さい。

マイクロイメージ社 TNTmips2008:74 ダウンロードサイト：  
<http://www.microimages.com/downloads/tntpatch/v74release.htm>



このページから TNTmips の“フルバージョン (Full)”または“ミニバージョン (Minimal)”のいずれかをダウンロードしていただくことができます。フルバージョンとミニバージョンの違いは以下の通りです。

フルバージョン：最新の TNTmips、チュートリアル、サンプルスクリプト、利用可能な全ての言語を含む (Windows の場合、276Mb 程度)

ミニバージョン：最新の TNTmips のみ (Windows の場合、122Mb 程度)

※両方ともサンプルデータは含みません。

初めてインストールされる方は、フルバージョンをダウンロードされることをお勧めします。ミニバージョンは、パッチの適用やアップデートなどのような場合に使用します。

- ❗ TNTmips のインストール用 CD-ROM が必要であれば、弊社へご連絡ください。

Windows - Intel or AMD		
32-bit (2000, XP, Vista)	Full (276 Mb)	TNT_74_Win32_Full_20080827.zip
32-bit (2000, XP, Vista)	Minimal (122 Mb)	TNT_74_Win32_Min_20080827.exe
32-bit (2000, XP, Vista)	CD Image (534 Mb)	TNT_74_Win32_20080827.iso
true 64-bit (XP 64, Vista)	Full (264 Mb)	TNT_74_Win64_Full_20080827.zip
true 64-bit (XP 64, Vista)	Minimal (112 Mb)	TNT_74_Win64_Min_20080827.exe

Windows -Intel or AMD の欄から、お使いのコンピュータにあったものを選択してください。ここでは、32bit(2000、XP、Vista) のフルバージョンを選んでいきます。



お使いのコンピュータの適当な場所に保存してください。

最新の TNTmips は Web からダウンロード

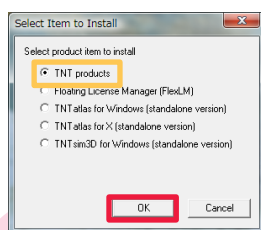
## ② TNTmips のインストール

### • CD-ROM からインストールする場合



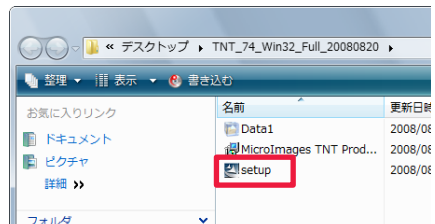
CD-ROM をドライブにセットします。自動的にこのような画面が現れるはずですが、何も表示されない場合は、マイコンピュータを開き、CD-ROM ドライブをダブルクリックします。

タイトルが現れたら、一番上の [Install...] ボタンを押します。



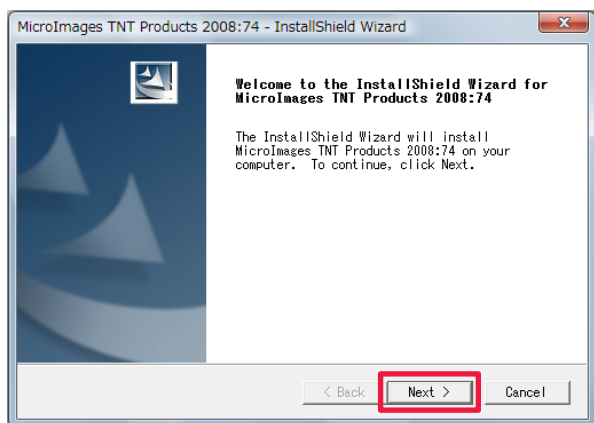
< Select Item to Install > ウィンドウが表示されますので、一番上にあります [TNT products] が選択されていることを確認して [OK] ボタンを押します。< InstallShield Wizard > ウィンドウが立ち上がります。

### • ダウンロードしたファイルをインストールする場合

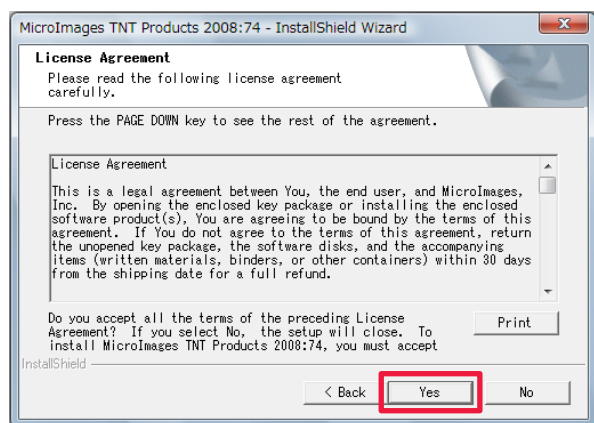


ダウンロードした zip 形式のファイルを解凍し、解凍したフォルダ内にある setup.exe をダブルクリックします。< InstallShield Wizard > ウィンドウが立ち上がります。

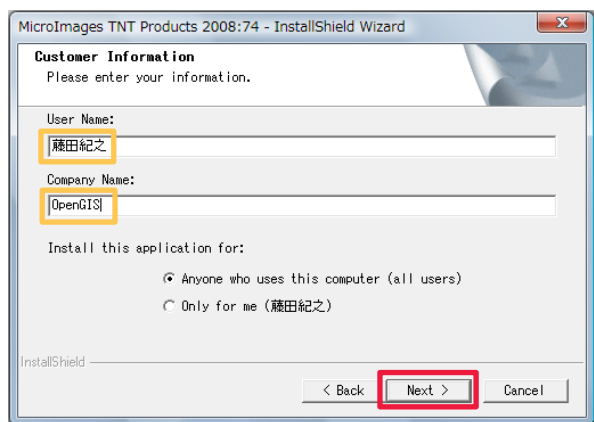
以下は共通です。



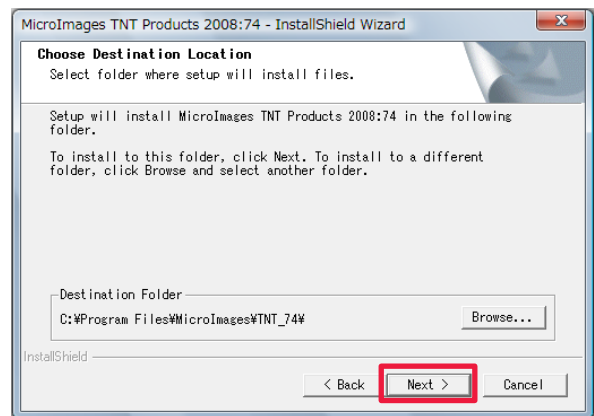
< InstallShield Wizard >ウィンドウの [Next] ボタンを押します。



License Agreement というタイトルのウィンドウが現れます。記載内容を確認したら [Yes] ボタンを押し、次に進みましょう。

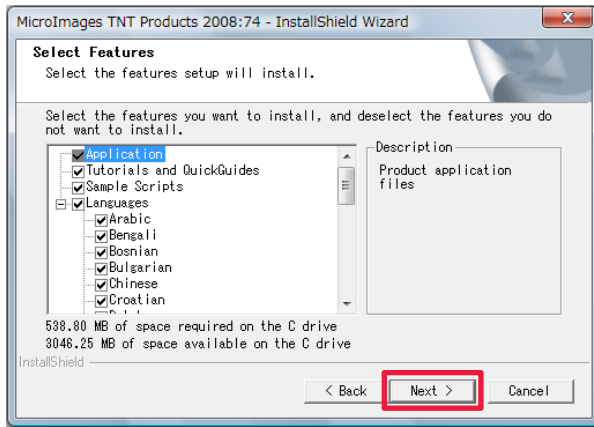


今度は Customer Information というタイトルのウィンドウが現れます。それぞれ上段にはユーザー名を、下段には組織名を入力して下さい。入力が終わりましたら、[Next] ボタンを押します。

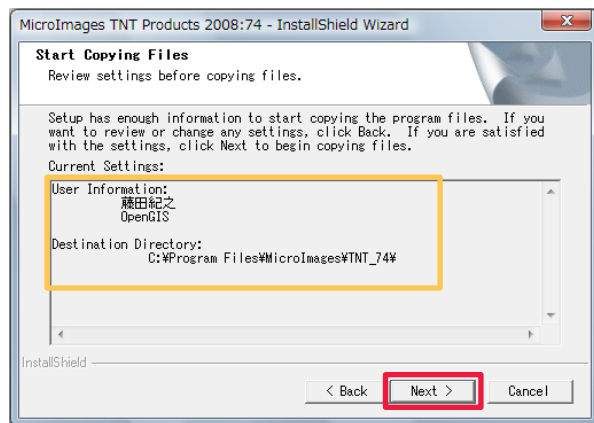


インストール先を確認してきますので、デフォルトのままであればそのまま [Next] ボタンを、変更したい場合は [Browse...] ボタンを押して保存先を指定してください。

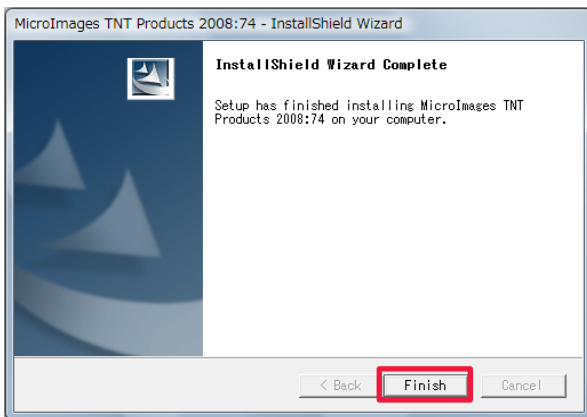




Select Features というタイトルのウィンドウが出てきます。ここでインストールする中身を選ぶことができますのですが、通常はマニュアル、サンプルスクリプト等も含めて丸ごとインストールしておくほうが、後々便利です。そのまま [Next] ボタンを押してください。



Start Copying Files というタイトルのウィンドウが現れます。設定を確認したら [Next] ボタンを押しましょう。



インストールが終わりますと、このようなウィンドウが現れます。[Finish] ボタンを押し、ウィンドウを閉じます。

以上で TNTmips のインストール作業は終了です。

● **TNTmips** (製品版) として使用される場合



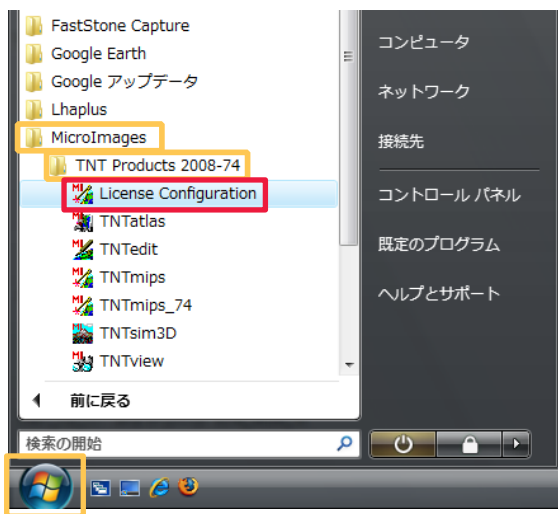
次の「③ドライバのインストールとキーの接続」へお進みください。

● **TNTlite** (フリー版) として使用される場合



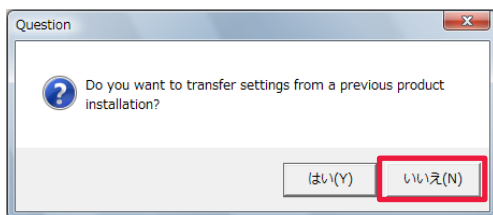
「番外編 TNTliteとして利用する場合」へお進みください。

# ③ ドライバのインストールとキーの接続

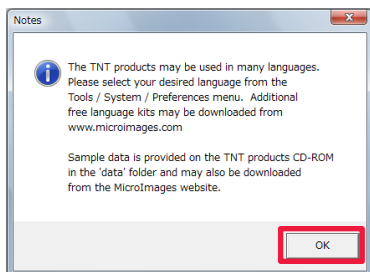


左下のスタートメニューより、すべてのプログラム > MicroImages > TNT Products 2008-74 > License Configuration を選択してください。

既にドライバがインストールされている場合は、この作業を行う必要がありませんので、作業④へ進みましょう。



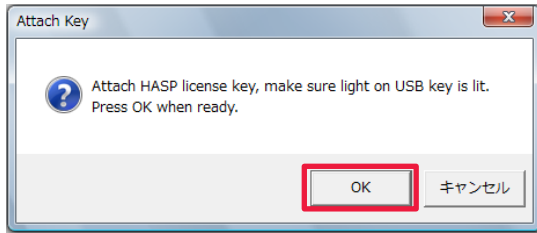
以前のバージョンでの設定を引き継ぐかどうか聞いてきます。初めてインストールされる方は [いいえ (N)] ボタンを押して次へ進みましょう。



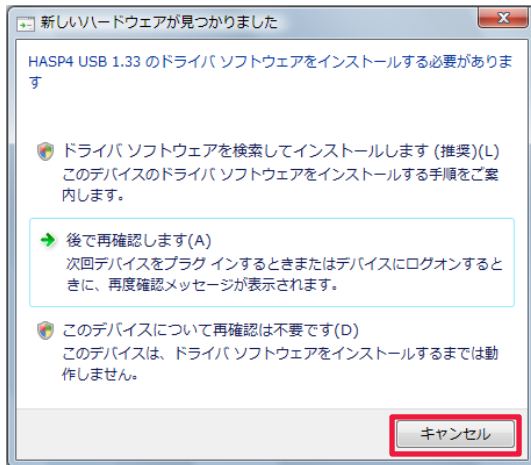
< Notes > ウィンドウが現れます。[OK] ボタンを押します。



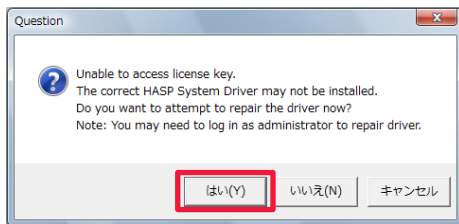
< TNT Product License Configuration > ウィンドウが現れます。今回は、HASP ライセンスキーのドライバをインストールしますので、[HASP license key on USB or parallel port:] がチェックされていることを確認して、[OK] ボタンを押します。



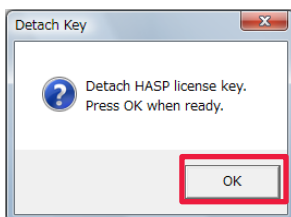
「ライセンスキーを差し込み、キーが点灯しているかを確認し、よければ [OK] を押ししてください」というメッセージがでます。キーを差し込み [OK] ボタンを押します。



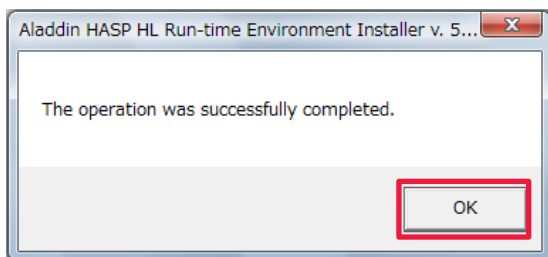
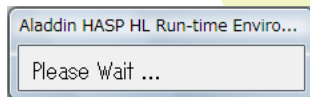
キーを差し込むと「HASP4 USB 1.33 のドライバソフトウェアをインストールする必要があります」というメッセージのウィンドウが開きますが、[キャンセル] ボタンを押してこのウィンドウを閉じます。



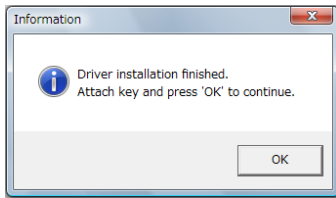
< Question > ウィンドウが現れますので、[はい] を押して、次へ進んで下さい。



キーを抜いてから [OK] ボタンを押すと、ライセンスキーのドライバのインストールが始まります。

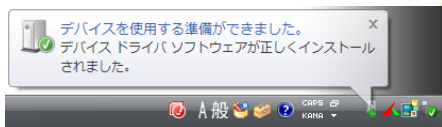


ドライバのインストールが終わると、< The operation was successfully completed > というメッセージが現れます。

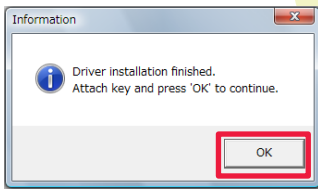


次に < Information > ウィンドウが現れます。このウィンドウが出たら、コンピュータにライセンスキーを差し込みます。

❗ [OK] ボタンはまだ押さないで下さい。



タスクバーに、このようなメッセージが表示されます。 < Information > ウィンドウの [OK] ボタンを押して、ドライバのインストールは完了です。



タスクバーに「使用準備ができました」というメッセージが表示される前に [OK] ボタンを押すと、エラーメッセージが現れる場合がありますが、ドライバのインストールは完了しています。

## 参考

Windows で使用できるライセンスキーには、HASP USB キーの他、パラレルキーや PC カードの 3 種類があります。

HASP  
**USB**  
ユー・エス・ビー・キー



**Parallel**  
パラレル・キー



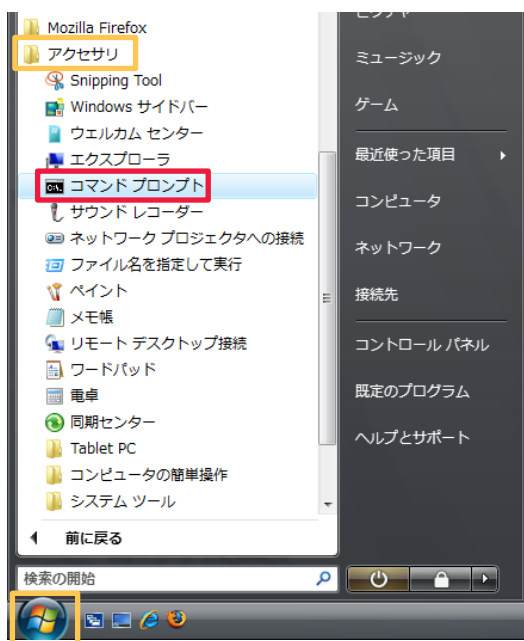
HASP  
**PCcard**  
ピーシー・カード



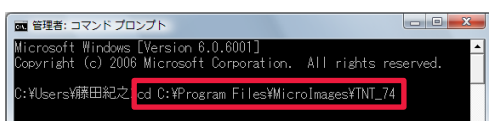
# 手動でドライバを操作する方法

うまくインストールすることができない ... という場合は、手動でドライバをインストールしてみましょう。

❗ キーのドライバのアンインストールが必要になるかもしれません。その場合は、インストールガイドの最後にある「キーのドライバのアンインストール」をご覧ください。



スタートメニューから、すべてのプログラム>アクセサリ>コマンドプロンプトを選択してください。

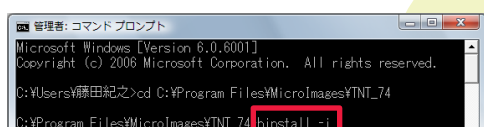


TNTmipsV74 を保存してあるフォルダへ移動します。  
C :¥Users¥ ユーザー名 > (Windows XP の場合、C :¥Document and Setting¥ ユーザー名 >) の行で、

```
cd C:\Program Files\MicroImages\TNT_74
```

と入力します。

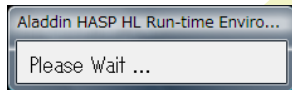
注) [] は半角スペースを表しています。



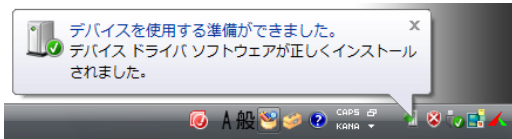
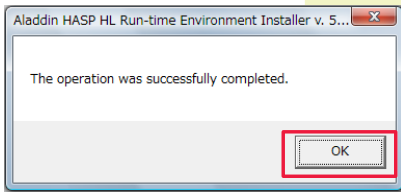
プロンプトが C:\Program Files\MicroImages\TNT\_74> になったら、

```
install -i
```

と入力し、[Enter] キーを押します。



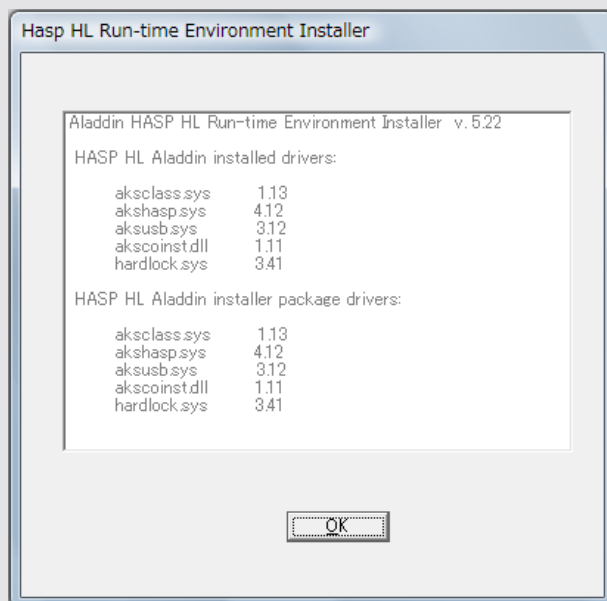
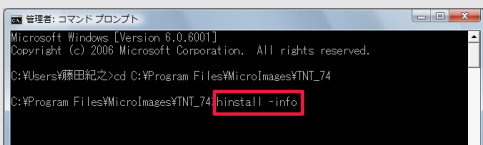
< Aladdin HASP HL Run-time Environment Installer v.5.22 >ウィンドウが現れます。[OK] ボタンを押してウィンドウを閉じてから、ライセンスキーをコンピュータに差し込みます。



タスクバーにこのようなメッセージが表示されたならば、インストール完了です。

## 参考

`hinstall -install`ではなく、`hinstall -info`とすると、ドライバのバージョンなどの情報を見ることができます。

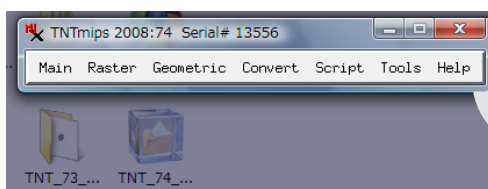


# 4 TNTmipsの起動

Windows を再起動し、早速 TNTmips を起動してみましょう

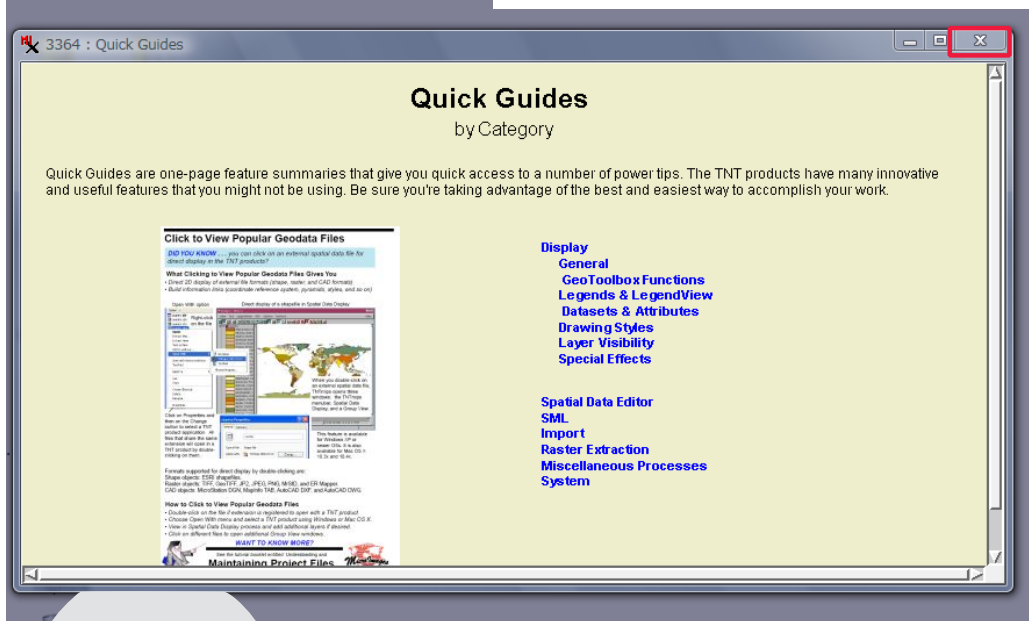


起動方法はいたって簡単です。スタートメニューの、すべてのプログラム > MicroImages > TNT Products 2008-74 > TNTmips を選択します。



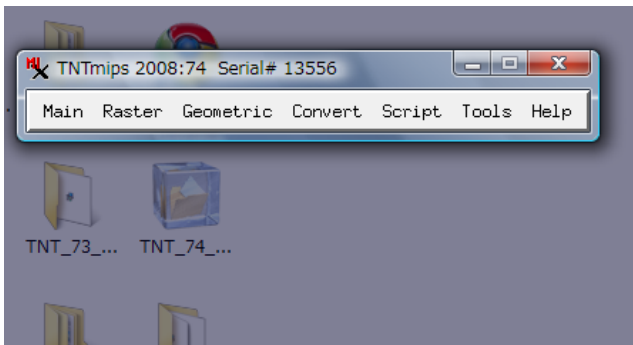
[Main]、[Raster]、[Geometric]、[Convert]、[Script]、[Tools]、[Help] が配置されたウィンドウが現れます。

TNTmips で行なう処理はすべてこのウィンドウから始まります。このウィンドウを<メインメニュー>と呼びます。



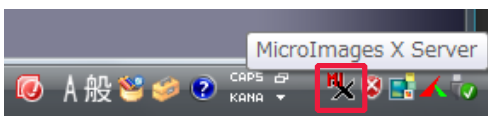
<メインメニュー>と一緒に、TNTmips の操作方法についての資料のインデックスが表示されることがあります。インデックスが表示された場合は、[閉じる] ボタンを押してウィンドウを閉じます。

インデックスには Quick Guides 用、Technical Guides 用、Tutorials 用、News 用といったように様々な種類がありますが、ここでは例として Quick Guides 用のインデックスウィンドウを載せています。

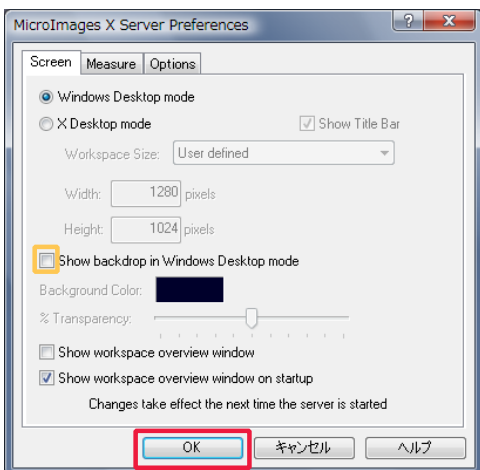


このように、画面全体が暗くなっているのは” Backdrop ”機能が有効になっているためです。

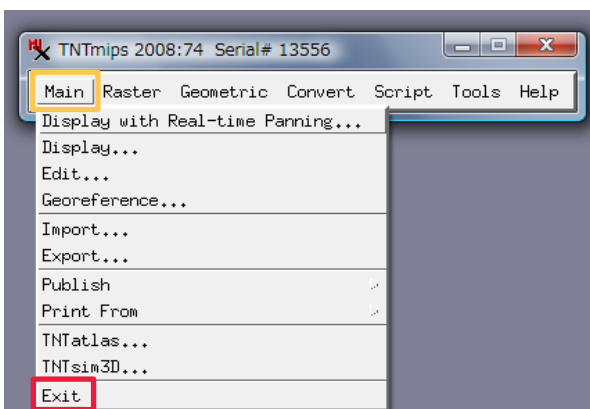
TNTmips のウィンドウを見やすくするための機能なのですが、この機能が有効になっていると、TNTmips の動きが遅くなることがあります。



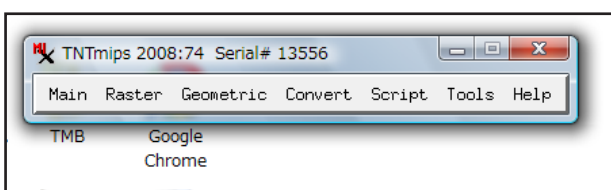
この機能は MicroImages X Server で設定されています。設定を解除するには、まず画面右下の [MicroImages X Server] ボタンを押します。



< MicroImages X Server Preferences > ウィンドウが現れます。  
[Show backdrop in Windows Desktop mode] のチェックをはずし、  
[OK] を押します。



[Main] から [Exit] を選択し、TNTmips を終了します。



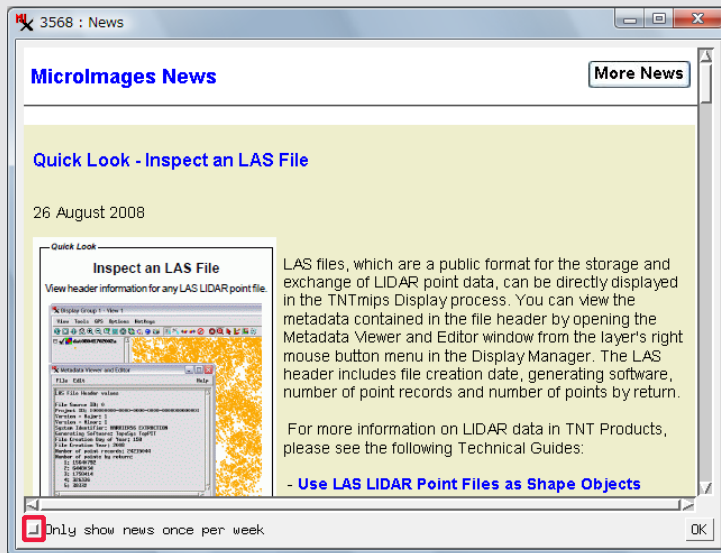
TNTmips を再起動すると、変更が適用されます。



## 参考

インデックスウィンドウが現れるのは、TNTmips の起動回数によります。しかし、News 用のインデックスウィンドウだけは、毎日 1 度だけ表示するか、1 週間ごとに 1 度表示するか選択できます。

出現頻度の切り替えは、News 用のインデックスウィンドウで行います。このウィンドウの一番下に、“Only show news once per week” というメッセージの横にトルグボタンがあります。このトルグボタンを押した状態にしているとこのウィンドウは、1 週間ごとに表示されます。また、トルグボタンが押されていない状態ですと、毎日表示されます。

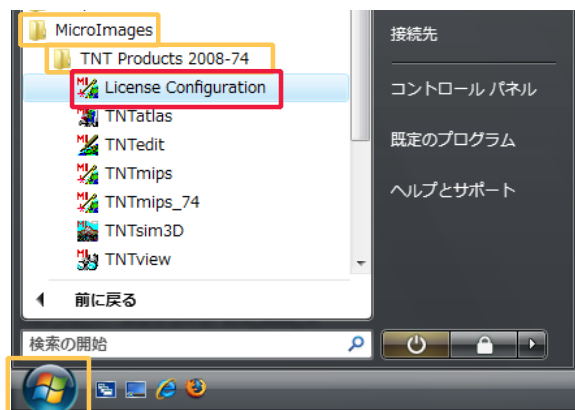


New 用のインデックスウィンドウが開く際、TNTmips の起動が遅くなってしまいます。気になられる場合は、1 週間ごとに表示する設定にしてください。

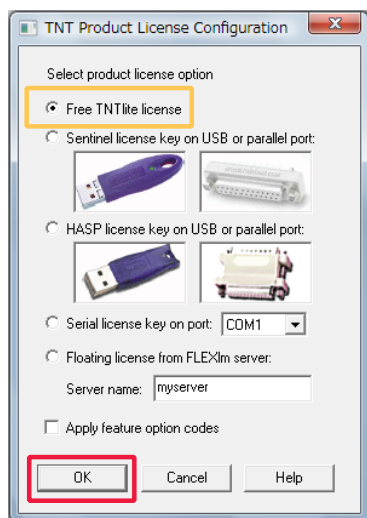
# 番外編 TNTlite として利用する場合

TNTlite は、TNTmips の解析機能はそのまま扱えるデータサイズに制限をかけた無料版 NTNTmips です。TNTlite を起動しようとしているコンピュータで TNTmips（製品版）を一度でも起動したかどうかによって、TNTlite の起動手順が変わります。ここでは、その起動手順についてご紹介します。

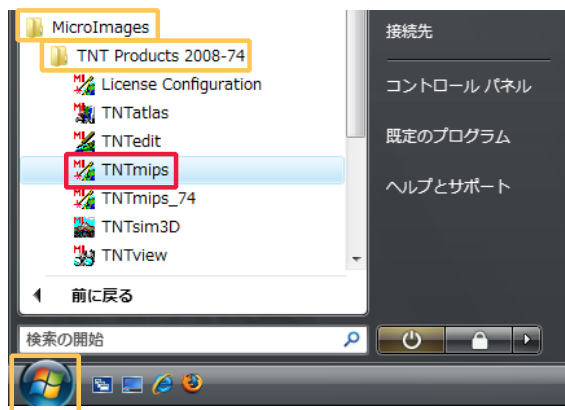
## TNTmips を起動したことのあるコンピュータで TNTlite を起動する場合



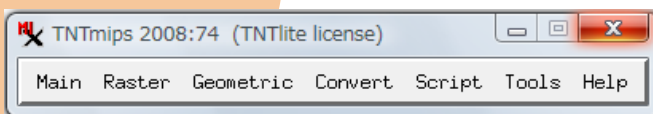
画面左下の [スタート] ボタンから、すべてのプログラム > MicroImages > TNT Products 2008-74 > License Configuration を選択します。



[ Free TNTlite license ] を選択します。

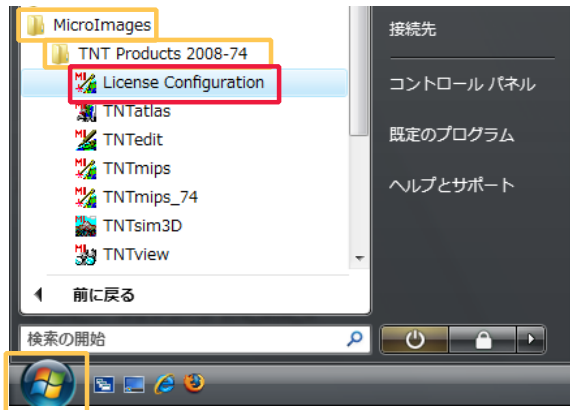


再度、スタートメニューからすべてのプログラム > MicroImages > TNT Products 2008-74 > TNTmips を選択すると、TNTlite が起動します。

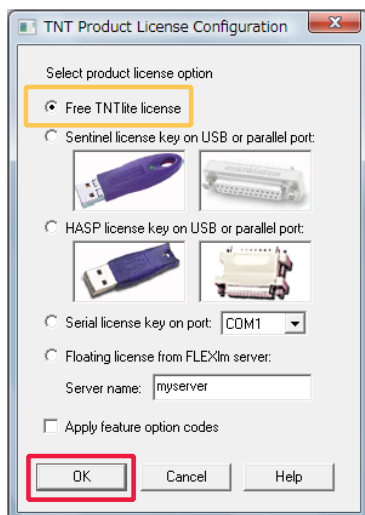


## TNTmips を起動したことのないコンピュータで TNTlite を起動する場合

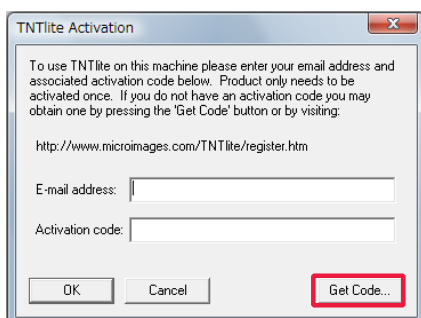
この場合、「アクティベーションコード」が必要になります。マイクロイメージ社のサイトにある TNTlite 専用のレジストリフォームに必要事項を記入すると、マイクロイメージ社からアクティベーションコードが送られてきます。このコードの有効期限は 3 日間ですが、何度でも発行できます。



スタートメニューから、すべてのプログラム > MicroImages > TNT Products 2008-74 > License Configuration を選択します。



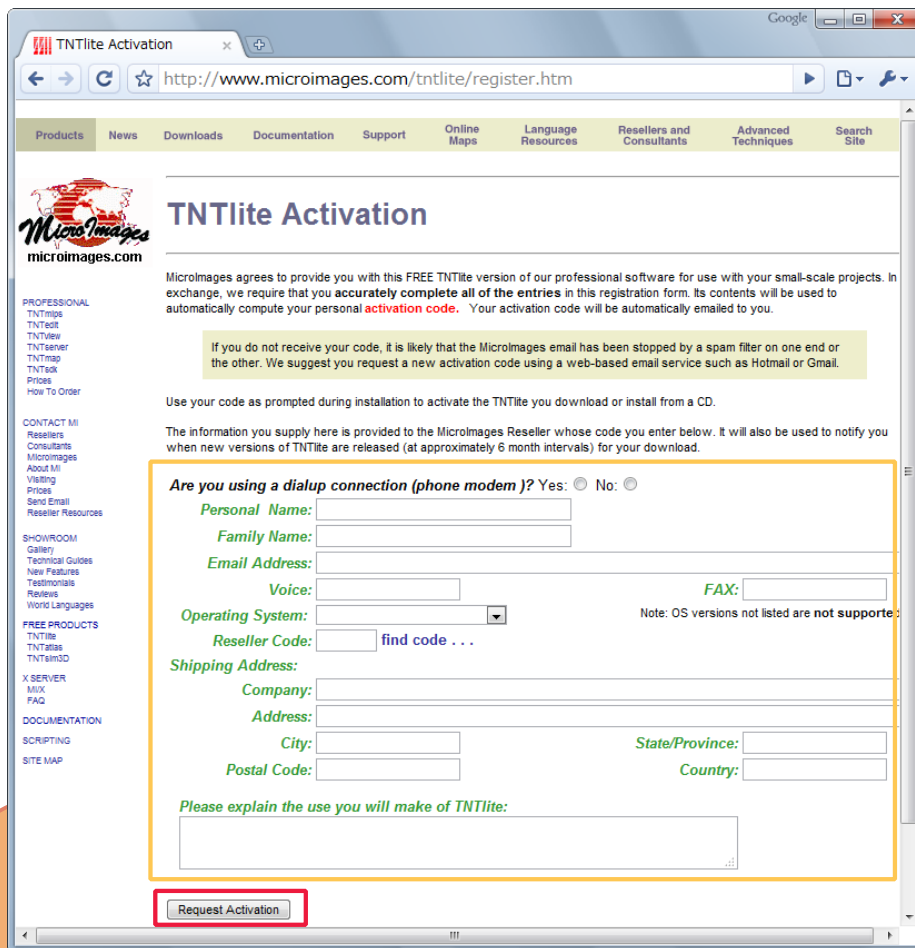
[ Free TNTlite license ] を選択します。



< TNTlite Activation > ウィンドウが現れます。

右下の [ Get Code... ] ボタンを押し、マイクロイメージ社のレジストリフォームにアクセスします。また、下記の URL からレジストリフォームにアクセスできます。

マイクロイメージ社 TNTlite Activation :  
<http://www.microimages.com/tntlite/register.htm>



必要事項を記入し、[Request Activation] ボタンを押します。

ネットワークの接続タイプは“Yes”、“No”のどちらかを選択します。ダイヤルアップ接続の場合は“Yes”、それ以外の場合は“No”を選択してください。

**Reseller Code:** には弊社のコードである、**JP807** とご入力ください。

Installing the TNTlite package you have downloaded automatically installs MicroImages' TNTmips, TNTedit, TNTview, TNTAtlas and TNTsim3D products. When you start up TNTmips, TNTedit or TNTview for the first time, you will be prompted to enter the activation code shown below and the email address you used to receive this message. Your successful activation of any of these 3 products activates all of the products and you can use them for as long as you like.

However, please be aware that each activation code, including the one shown below is valid for 3 days. During this period you may use the code as many times as you like and to activate as many different TNT installations as you like.

If your activation code expires before you start up TNTmips for the first time, you may get a new code by filling out the TNTlite Activation form again at <http://www.microimages.com/tntlite/register.htm>. You do not need to download the TNTlite installer file again unless you wish to update it to a new weekly edition.

The letters in the activation code can be entered in either UPPER or lower case, with or without spaces:

Email: [fujita@opengis.co.jp](mailto:fujita@opengis.co.jp)

Activation Code: LTT8V BDELS P2CJZ NZB8E M3643  
OR : ltt8v bdels p2cjz nzb8e m3643

Cut and Paste : ltt8vbdelsp2cjznzb8em3643

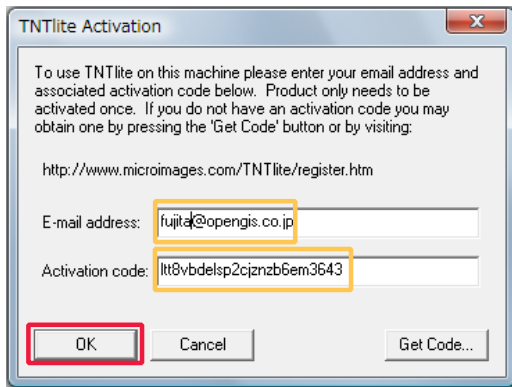
Please contact MicroImages' software support at [support.com](mailto:support.com) with any problems or questions you may have installing or running TNTmips in lite mode (email only please).

Thank you,  
Staff at MicroImages, Inc.  
<http://www.microimages.com>

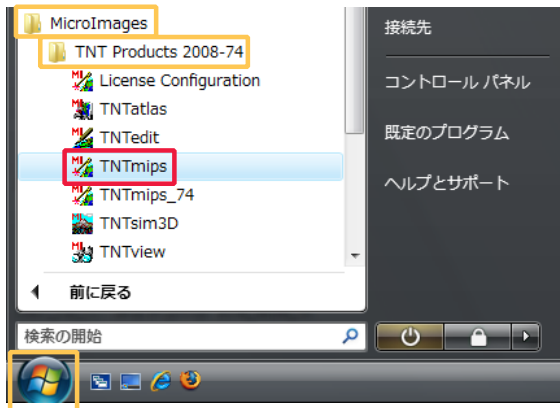
--- Special --- Teachers & Students Academic Discounts ---

The TNT professional products are available at a substantial discount for use in classroom teaching programs without the project size limitations of TNTlite. Additional detailed information on this Special Academic License program can be found at

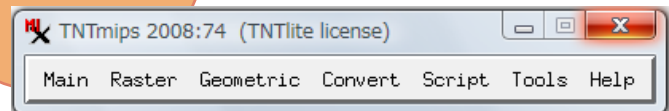
マイクロイメージ社から、アクティベーションコードが記載されたメールが届きます。



< TNTlite Activation > ウィンドウへ戻り、「E-mail Address:」欄と、「Activation:」欄にユーザー様のメールアドレスとアクティベーションコードを入力します。



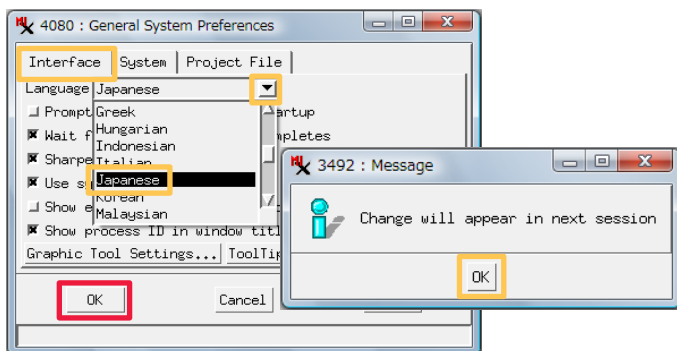
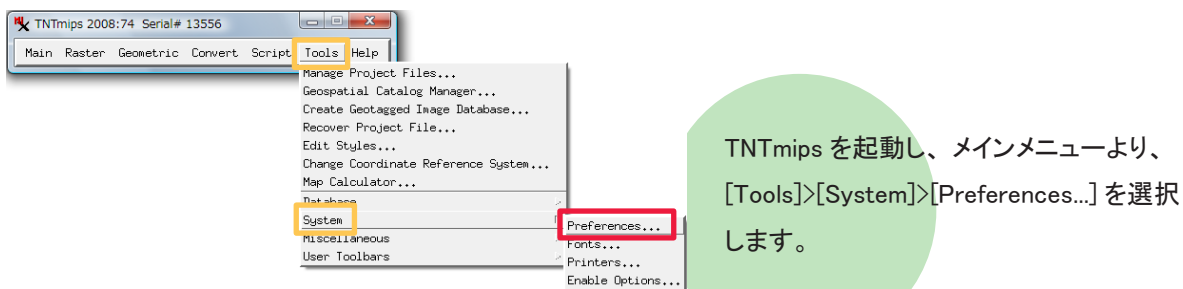
再度、画面左下のスタートメニューから、すべてのプログラム > MicroImages > TNT Products 2008-74 を選択し、[TNTmips] を選択すると、TNTlite が起動します。



# 5 言語の設定

## 言語の設定

通常のインストールは既に完了しておりますが、日本語を自由に使用できるように設定を変更します。

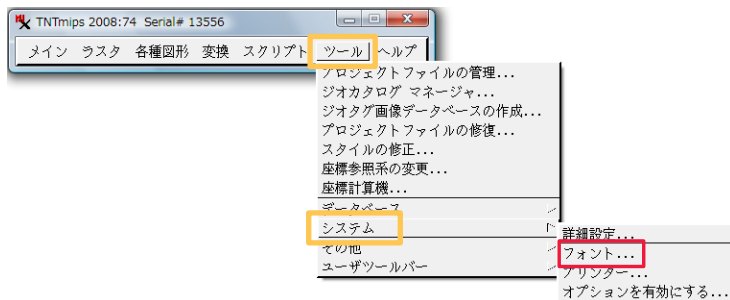


最後に、< General System Preferences > ウィンドウの [OK] ボタンを押してメインメニューに戻ります。



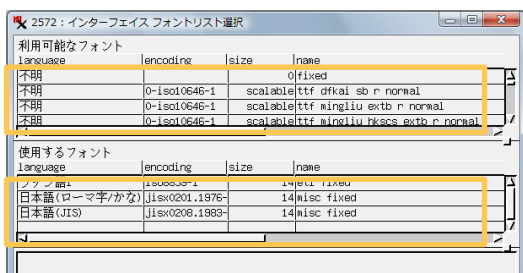
TNT mips を再起動すると、日本語メニューに変わります。

# フォントの設定

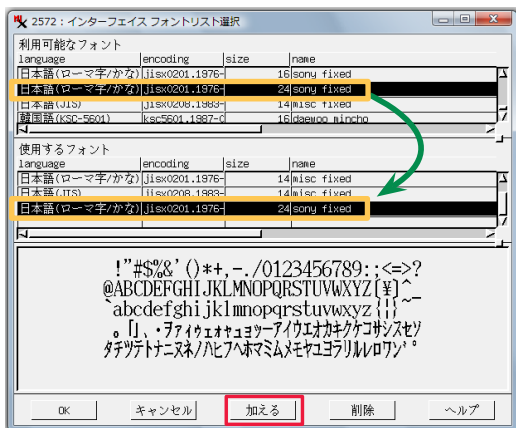


フォントも変えることができます。

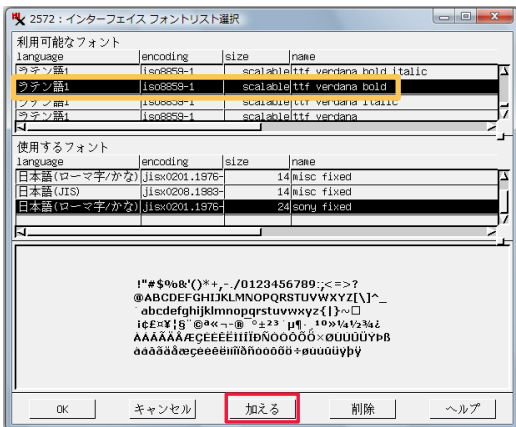
[ツール] > [システム] > [フォント...]  
を選択します。



<インターフェイス フォントリスト選択>ウィンドウが現れます。このウィンドウ上段にある「利用可能なフォント」は利用できるフォントの一覧で、中段にある「使用するフォント」は実際に使用しているフォントの一覧です。

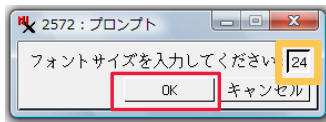


size列に数字が書いてあるフォントは、“ビットマップフォント”です。「利用可能なフォント」欄からビットマップフォントを選択し、[加える] ボタンを押すと、選択したフォントが「使用するフォント」欄に移動します。

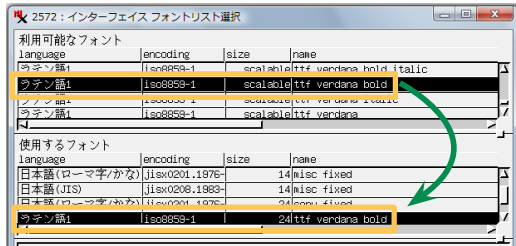


また、size列に scalable と表示されているフォントは“スケーラブルフォント”です。スケーラブルフォントを使用する場合、フォントサイズを指定する必要があります。

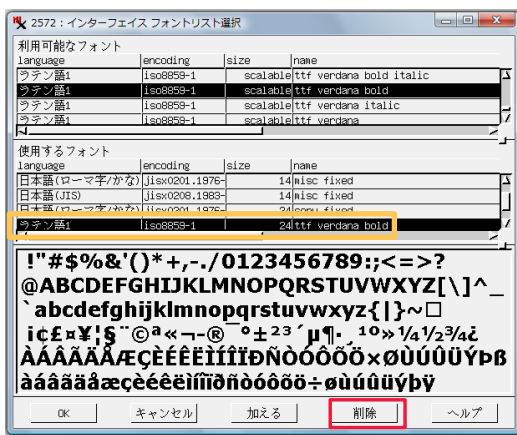
「利用可能なフォント」欄からフォントを選択し、[加える] ボタンを押します。



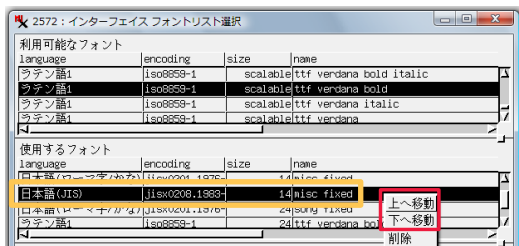
<プロンプト>ウィンドウが現れます。フォントサイズを指定して、[OK] ボタンを押します。



選択したフォントが「使用するフォント」欄に移動します。



「使用するフォント」欄からフォントを削除するには、この欄からフォントを選択して、[削除] ボタンを押します。



一般的に、「使用するフォント」欄の上の行ほど優先的に使われます。ただし、ビットマップフォントとスケーラブルフォントを一緒にセットしている場合は、スケーラブルフォントが優先的に使われます。

フォントの順番を変えるには、フォントの上で右クリックし、[Move Up] を選択すると上に移動し、[Move Down] を選択すると下に移動します。英数字フォントは上の行に設定してください。

TNTmips を再起動すると、フォント設定が有効になります。



# FAQ よくある質問

## インストールができないで 終了してしまう

既に同じバージョンの TNTmips がインストールされている場合、新たにインストールすることができないことがあります。そんな時はアンインストール（削除）をしてください。詳しくは、このガイドブックの後半をお読みください。

## 昔の設定を 引き継ぎたいときは？

インストール途中に「Do you want to transfer settings from a previous product installation?」と聞かれたら、[はい(Y)] ボタンを押し、今まで使用してきた TNTmips のインストールフォルダを選択します。するとフォント設定などを引き継ぐことができます。

## ver.7.4 の最新情報！

マイクロイメージ社は、パッチ（新しいバージョンがリリースされた後に発見されたバグやエラーの修正プログラム）を毎週水曜日に更新します。日本では木曜日か金曜日にダウンロードが可能です。

## シリアルキーが 認識しないのは何故？

COM ポートは間違っていないか？ < License Configuration > ウィンドウの [Serial license key on port:] にチェックして、正しい COM ポートを選択すると認識されます。

## インストール先を 変更できますか？

できます。インストール作業中に出てくる Choose Destination Location というタイトルのウィンドウの右下にある [Browse...] ボタンを押すと、インストール先を変更することが可能です。

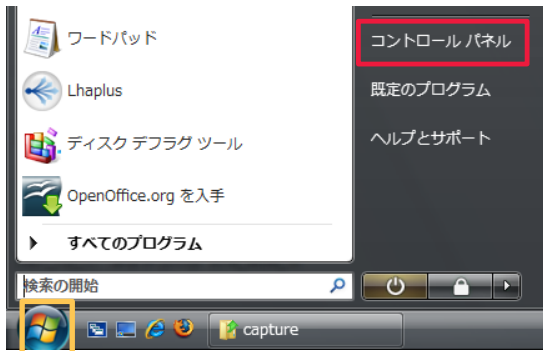
## TNTlite を別に インストールする必要はあるの？

ありません。TNTmips の起動前にスタートメニューからすべてのプログラム > MicroImages > TNTproducts 2008-7.4 > Lisence Configuration を選択して、[Free TNTlite License] に切り替え、[OK] ボタンを押すことで、TNTmips から TNTlite へ変更されます。TNTmips へ戻す場合も同様です。

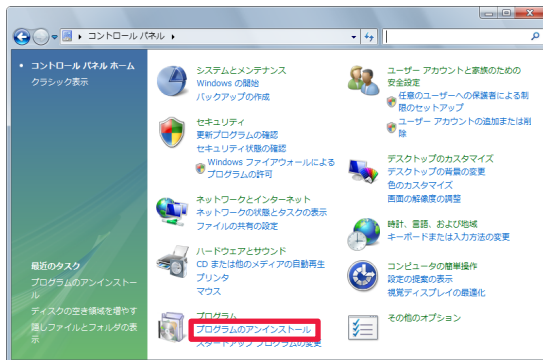
# UnInstall1

## TNTmips のアンインストール

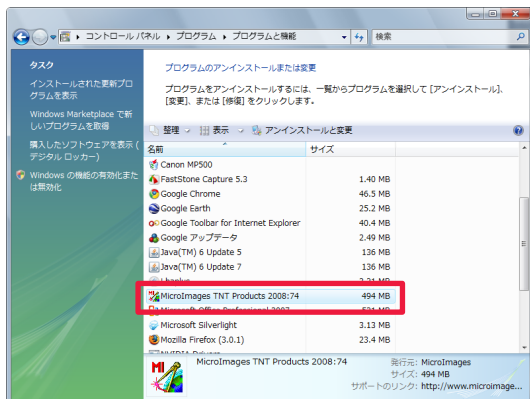
❗ TNTmips のアンインストールはライセンスキーを抜いてから行ってください。



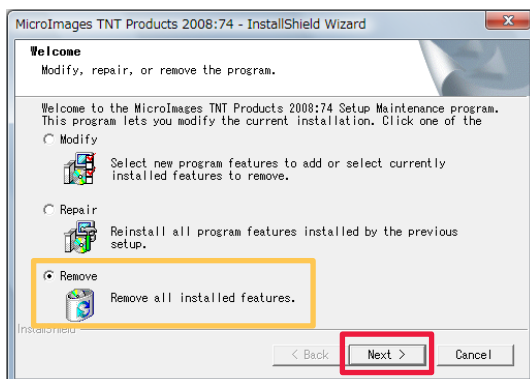
スタートメニューから、コントロールパネルを選択します。



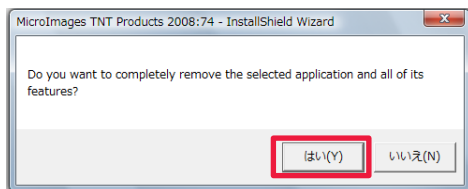
プログラム>プログラムのアンインストールを選択します。



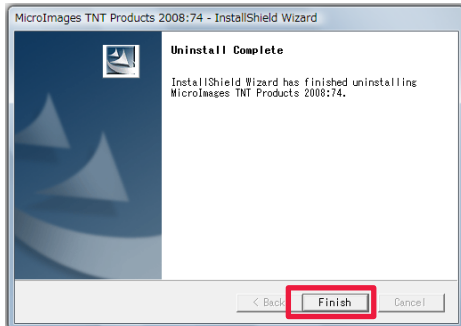
MicroImages TNT Products 2008 : 74 をダブルクリックします。



アンインストールを行う場合は、一番下の Remove( 削除 ) を選択します。[Next] ボタンを押します。



本当に削除していいか、確認のウィンドウが現れますので、[OK]ボタンを押します。アンインストール処理が始まります。



無事アンインストールが終わると、“Uninstall Complete”というメッセージが現れます。メッセージを確認したら [Finish] ボタンを押してこのウィンドウを閉じます。

Cドライブ内の様々な場所に、設定ファイルやログファイルを保存している“MicroImages”というフォルダがあります。これらのフォルダは、手動で削除します。

#### Windows XP の場合

C:\Program Files とマイドキュメント内に“MicroImages”が残っているので、それを削除します。

#### Windows Vista の場合

C:\Program Files とドキュメント内に“MicroImages”があります。また、デフォルトでは「隠しフォルダ」になっていますが、C:\Program Data と、C:\ユーザー / ユーザー名 / AppData/Local にも“MicroImages”があります。“MicroImages”は全部で4つありますので、これら全てを削除します。

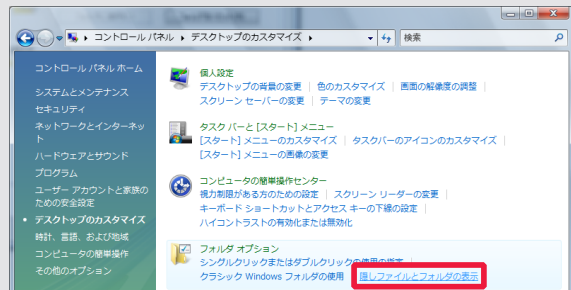
## 参考

# Windows Vista での隠しフォルダの表示

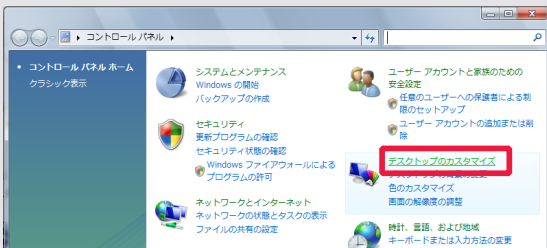
① スタートメニューから [コントロールパネル] を選択します。



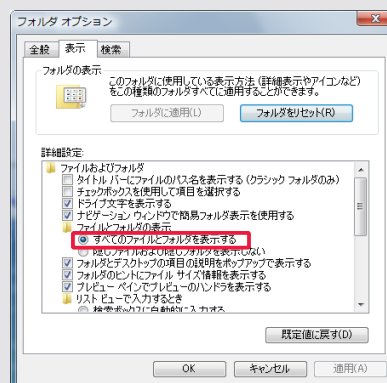
③ フォルダオプション欄にある [隠しファイルとフォルダの表示] を選択します。



② [デスクトップのカスタマイズ] を選択します。



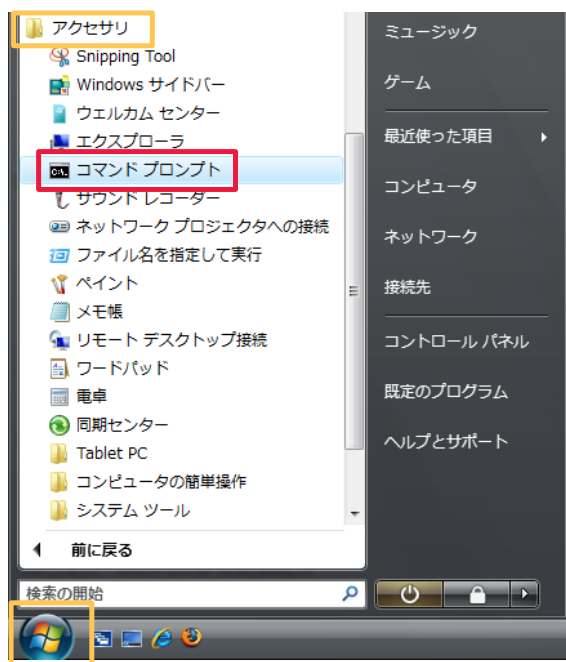
④ 詳細設定欄の [すべてのファイルとフォルダを表示する] をチェックします。



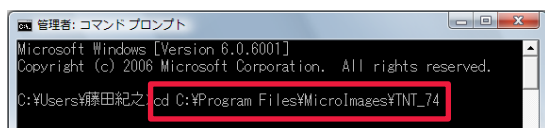
# UnInstall2

## キーのドライバのアンインストール

❗ キーのドライバのアンインストールは、ライセンスキーを抜いてから行ってください。

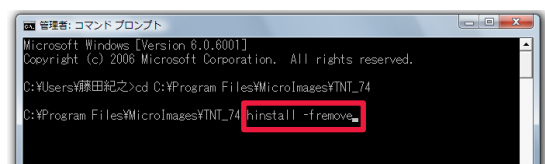


スタートメニューから、すべてのプログラム>アクセサリ>コマンドプロンプトを選択します。



TNTmipsV74 が保存されているフォルダに移動します。  
C : Users¥ ユーザー名 > ((Windows XP の場合、C:¥ Document and Setting¥ ユーザー名 >)) の行で、  
`cd C:\Program Files\MicroImages\TNT_74`  
と入力します。

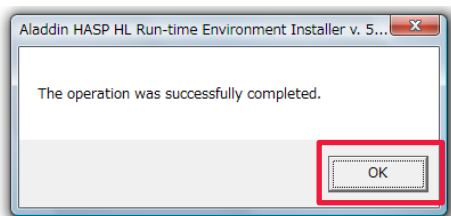
注) ¥ は半角スペースを表しています。



プロンプトが C:\Program Files ¥ MicroImages ¥ TNT\_74> になったら、

`hinstall -fremove`

と入力し、[Enter] キーを押してください。



ドライバのアンインストールが終わりますと、“The operation was successfully completed” というメッセージが現れます。[OK] ボタンを押し、このウィンドウを閉じます。

この操作で、プログラムが実行しない場合は、パソコンを再起動し、もう一度実行してください。

最新情報は

**www.○pengis.co.jp**

にて

随時提供しております

株式会社オープン GIS  
〒 130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14



**TEL** (03)3623-2851

**FAX** (03)3623-3025

**URL** <http://www.opengis.co.jp/>

**E-mail** [info@opengis.co.jp](mailto:info@opengis.co.jp)